

5区分	食料	25の施策分野	農業水利改良	事業名	県営かんがい排水		
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	さとやまべ 里山辺		工 期 (年度)	当 初 H12 ~ H16 実 績 H12 ~ H16	
当初事業費	280,000 千円		費 用 対 果 効 果	当初	1.25	完了後経過年数	5年
最終事業費	233,600 千円			評価時	-		

事業化の目的 本地区は、周辺の宅地化等に伴い雨水排水等が増加し、雨水等が水路から宅地、農地等に溢れる被害を防止するため、排水路を新設した。

事業等経過	当初計画内容	排水路工 L=762m B=1.0m H=1.5m (BOXカルバート)
	最終事業内容	排水路工 L=762m B=1.0~1.4m H=0.8~1.4m (BOXカルバート)
	変更理由	実施設計に当たり排水計画等の詳細検討を行ったことによる変更。

費用対効果の算定の基礎となった要因の変化

評価時の費用対効果は算定していない。

社会経済情勢の変化

一時期よりも緩やかであるが、周辺の宅地化が進んでいる。

評 価 内 容	ランク	
	部	政策評価課
事業効果の発現状況(S:目的を超えた達成 A:達成した B:概ね達成 C:達成したとはいえない) 排水路の整備により、下流域では排水による被害発生の防止が図られた。また、降雨等緊急時における上流の水門調整の労力が軽減された。	A	A
事業実施に伴う自然環境の変化(S:環境がよくなった A:影響なし B:影響あり C:影響が大きい) 住民アンケート結果は、「変わらない」が多く、道路下に排水路を整備したもので、既存の自然環境に顕著な変化をもたらしてはいない。	A	A
施設の維持管理状況(S:地域の人たちの参加あり A:適切にされている B:やや不十分 C:適切にされていない) 完成後の施設の管理者は松本市であるが、下流域排水量調整のための水門操作については地元住民が実施している。	S	S
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い) 工事の必要性、納得度について、約6割の方から評価されている。	B	B
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要) 当事業としての改善措置の必要性は認められない。	A	A
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし) 特になし。	-	-

部 意 見	下流域で水路から雨水等が溢れる被害を防止するとともに、上流域における水量調整の容易化等が図られ事業の効果を発揮している。	政 策 課 評 価 意 見	排水被害の防止が図られ、事業の目的を達成している。
-------	--	------------------	---------------------------

今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等

アンケート調査等から、下流の方と上流の方で、本事業に対する意識等に違いが見られた。混住化や高齢化が進んだ農村地域における事業に当たっては、実施前の段階から、工事の進め方や実施後の維持管理等も含め十分な説明等を実施することが特に重要であり、より一層効果的・効率的な事業の執行に資することに繋がる。

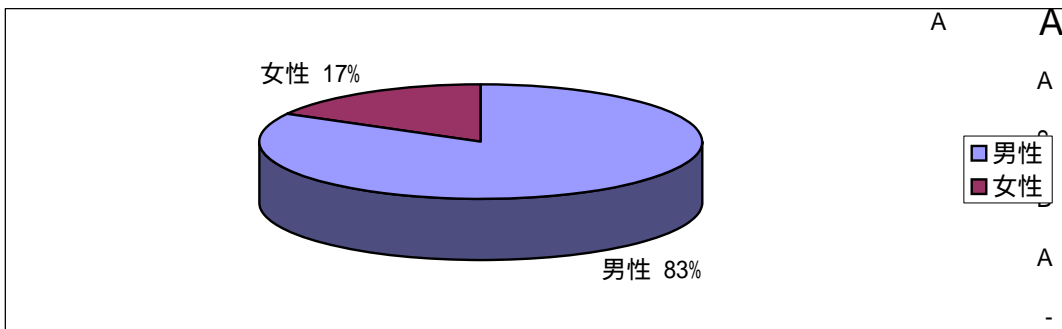
5区分	食料	25の施策分野	農業水利改良	事業名	県営かんがい排水
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	さとやまべ 里山辺		

アンケートの方法及び対象

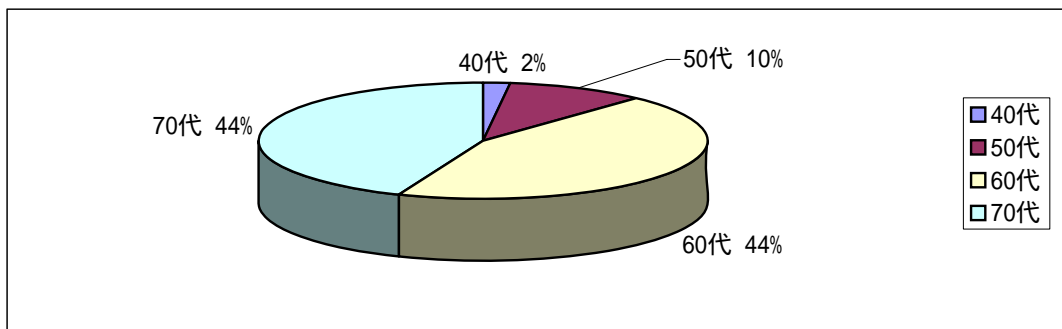
- ・ 本事業で排水路を整備した松本市北小松町会を対象とし実施した。
- ・ 配布数66、回収数52、回収率79%

アンケート結果

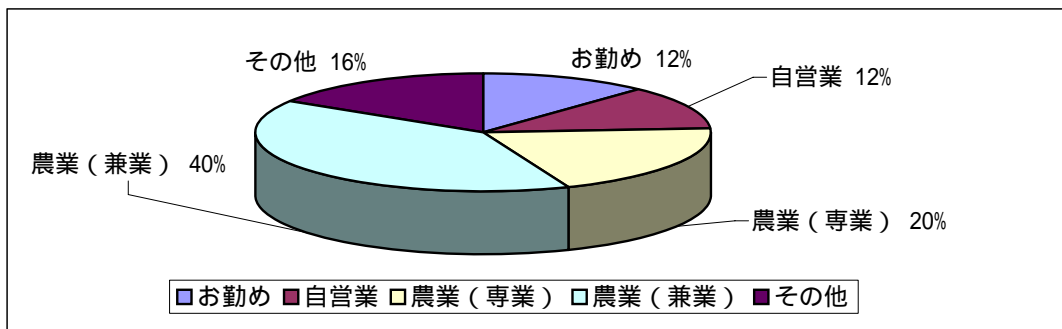
問1 あなたの性別は次のどれに該当しますか。



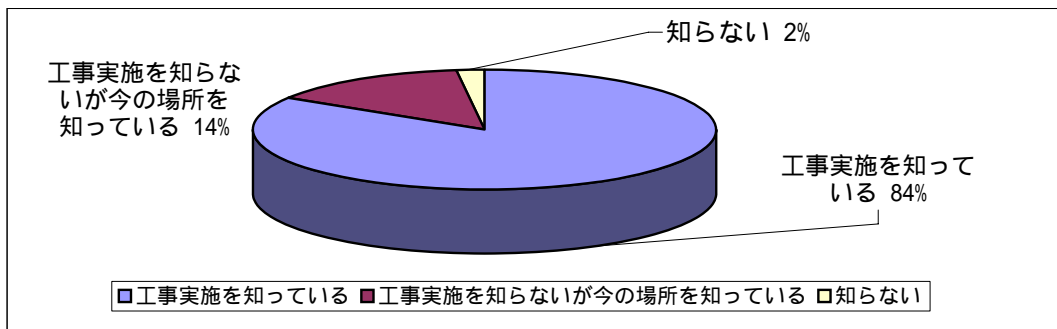
問2 あなたの年齢は次のどれに該当しますか。



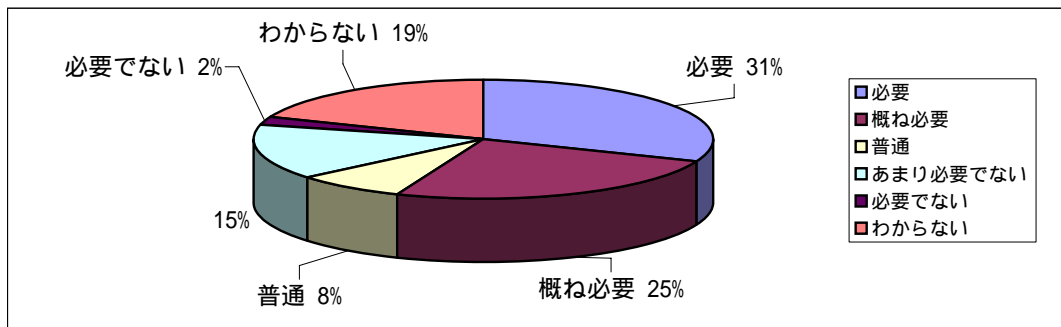
問3 あなたの職業は次のどれに該当しますか。



問4 今回のアンケートの工事(箇所)をご存知でしたか。



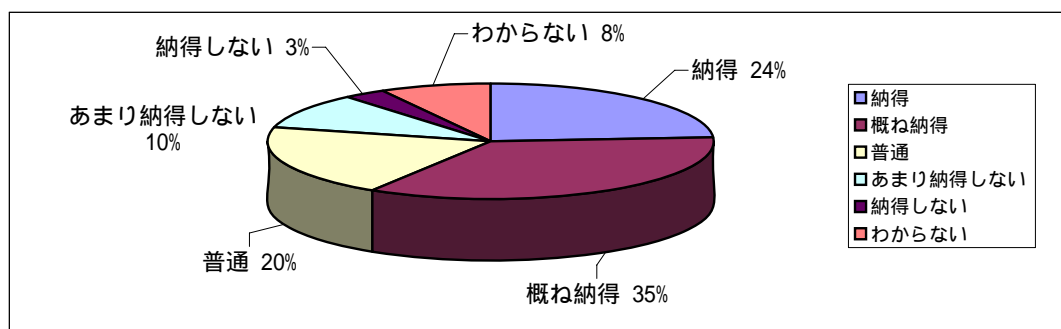
問5 行われた工事は、必要な工事だと思いますか。



必要な(必要ない)理由

- ・ 当町会には直接的な被害は出ていないが下流町会では被害が出ていた。これを防止するには効果出ている。
- ・ 大雨による増水を清水等市内への氾濫を防ぐため薄川へ放水するのは良い方法だと思う。
- ・ 下流域水量調整、洪水対策の為に、下流の人は水が出るたびに騒ぐ。下流域の被害防止。
- ・ 大雨の時、下流の町区(四ツ谷、清水)の川が氾濫しない為に必要。
- ・ 雨水、排水等が増加する為、溢れる被害を防ぐためよかったですと思います。
- ・ 住宅地となり、水田がなくなってきた為、いつ集中豪雨が降るかわからない。
- ・ 住居が上流の為、必要ない。災害があるとは限らない。施工以来活用したと思われる事はなし。
- ・ 必要あるが、下流の水路拡張はできなかったのか、拡張または深く、他の方法はなかったのでしょうか。
- ・ 工事着手前の必要性が周知されていたかが疑問です。必要と判断した経緯が見えない。
- ・ 従来より不自由なく今でも降雨時の水門管理については、市の指示の基づき確に開閉されている。
- ・ 下流清水溝渠改良進み地蔵川改修行われていた。長浄川手付かずと思われるが、規模が多過ぎる感ある。

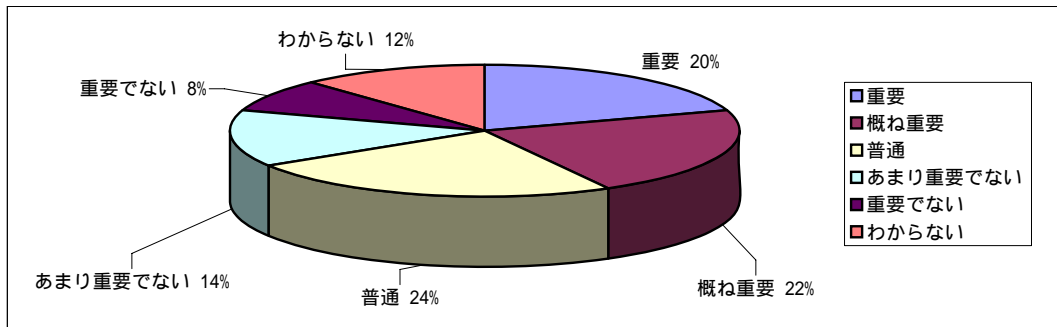
問6 工事に税金が使用されていることをどう思いますか。



納得する(納得しない)理由

- ・ 地域、市民全体に係わる事項であるから、地域全体の問題であるから当然と思う。
- ・ 今回の様な排水事業では他に費用負担する所がない。
- ・ 公共利用(雨水等が溢れる被害防止であるので)。
- ・ 社会的な変化なので、公共工事となるべき。
- ・ 納得、ためになります。(目的等がよくわかった。) 下流の方が有益であれば良いと思う。
- ・ ほ場整備の工事の時に一緒に行くと、水路の水漏もなく、工事効率も良かった。工事を行うとしたら遅い。
- ・ 工事そのものが不要と思う。税金をかけただけの効果なし。工事による効果の周知が必要だと思う。
- ・ 規模が大き過ぎる。あまりの大金でびっくりした。もっと安価な工法はなかったか、効果に対しお金掛り過ぎ。
- ・ 概ね納得とは言え下流水路の不備がこのような事を招いている。2億以上であれば下流工事できた。

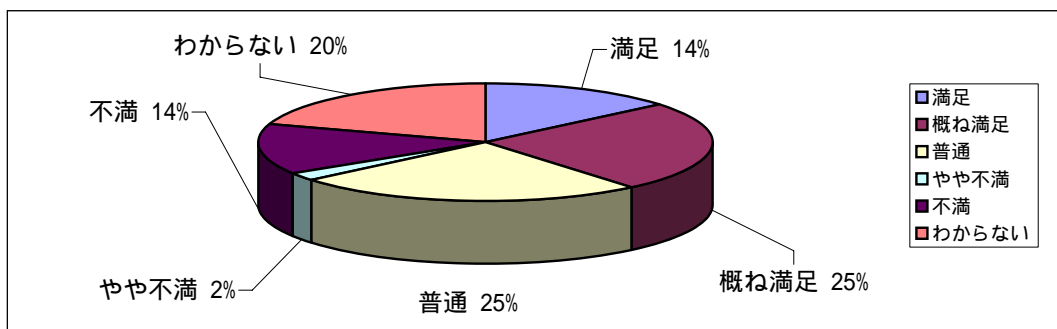
問7 行われた工事は、地域にとって重要だと思いますか。



重要な(重要でない)理由

- ・ 下流域に対して重要。下流域の溢水を防ぐために重要。
- ・ 上流の地域では特に必要ではなかった。でも下流の地域を考えれば必要だった。
- ・ 周囲の宅地(建物)場所的にも必要だと思います。
- ・ 雨が降る時も安心なので重要。規模が大き過ぎるのであまり重要でない。
- ・ 水路対策を優先(完備する事で unnecessary 出費は避けられる)。この工事は抜本策でないと思われる。
- ・ 事業の必要性が周知されていないと(私は)感じているので、わかりません。
- ・ 今後の維持管理をしっかり行ってもらいたい。安全にも気をつけて。ゴミつまり、凍結等で通路、水田水びたし。
- ・ 水路管理は昔から農家役員が行っており、今後も自分の必要とする水管理は農家の者が行えばいい。また、多少の水害は我慢すれば良い。

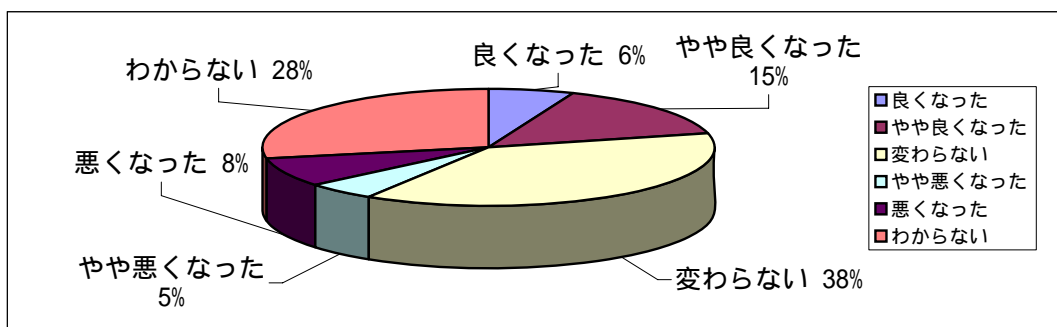
問8 この事業が完成した結果をみて、満足ですか。



満足な(満足でない)理由

- ・ 水量を調節する上で、水田の多い上流には水を豊富に流し、水を必要としない下流には水量を絞って流すことが出来る様になった。
- ・ 施設が完成し、下流の人も良かったと思います。
- ・ 安心して日々を過ごすことができるようになった。
- ・ 下流の方々には大雨等の時には有効だと思う。
- ・ 今時点では必要ではあるが、水路が完備すれば必要ない。
- ・ 自分は必要でないと思うが、出来上がった今活用しなければ、税金の無駄使いになる。
- ・ 水が水路から溢れたことがないから。何が満足なのか質問がよくわかりません。
- ・ 施工の段階でミスがあったのでは納得が得られない。
- ・ 薄川土手下を通る小川が流れにくくなり予定より予算、期間がオーバーした。
- ・ 工事が雑で現在も畑に水を掛けると道路の下に水が流れる。
- ・ 排水路の維持管理については市が責任を負っていると思うが、実質管理担当は地元の改良区役員が負っているが市と改良区 - 地元の役割分担等は地域住民に知らされていない。

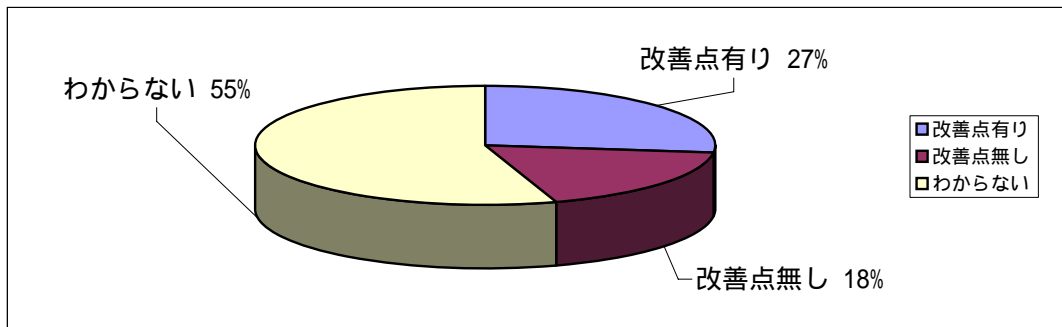
問9 事業の実施により、水環境、植物や動物、景観などの自然環境の状況は、施工前と比べてどう変化しましたか。



理由(自然環境の状況)

- ・ 上流域では変わらない。下流域の効果はあると思う。
- ・ 用水路の水量調節でやや良くなった。
- ・ 水路清掃等の折、開閉すれば薄川に放流可能でやや良くなった。
- ・ 工事後に台風などの大水が無いのでわからない。 事業側が調査すべきではないか。
- ・ 変わらない、若しくは悪くなっている。コンクリート底、壁、動植物に対して好環境でない。
- ・ 田の排水ができるようになった。冬季の凍結により水路より水の溢れあり。
- ・ 薄川の道路は、人も車も通り、前より見通しが良くなり、大変良かったと思います。
- ・ これは工事には関係ないが、小松橋上の排水路出口が生活ゴミで汚い。川はゴミ捨場ではない。
- ・ 冬季に凍結したものが流下する際、ゲートが動かず溢れる事があった。近年は果樹(ブドーハウス栽培)の為、冬期間でのかん水のため、従来より多く通水することも原因するかと思う。

問10 行なわれた工事(完成した施設)について改善した方がよいと思う点がありますか。



改善点についての内容

- ・ 工事の事前に道路下の状況や高低をしっかりと調査して排水管を埋めるようにすること。
- ・ 工事後の水門管理どこが責任を持って行うのか、地元押付け的で不明確。(水門開閉管理責任の明確化)
- ・ 水管理の問題 畑に必要な時に水がこない。全部川へ流れている。水管理を細めにやってほしい。
- ・ 冬季に凍結したものが流下する際、ゲートが動かず溢れる事があった。近年は果樹(ブドーハウス栽培)の為、冬期間でのかん水のため、従来より多く通水することも原因するかと思う。
- ・ 写真から判断して排水路のコンクリートが目立ち過ぎ周囲との調和がない。
- ・ 排水路に草、ゴミ等や雷雨時の濁り水等土砂が流入し堆積が予想される。掃除はできるか。未実施ではないか。
- ・ 上流は良くなった。下流の川改修工事が必要と思います。投資と効果面で有効であったかやや疑問が残る。下流の河川を改修する等でも対応可能ではなかったか。
- ・ 工事終了後、田畑の一部陥没し田に水を入れると水が流れ込むようになってしまった。松本市に陥没状況を見てもらったが効果がなかった。

問11 その他、御意見・御要望等についての内容

- ・ 異常気象と言われている中で、下流の水害防止としては有効な工事であったと思う。
- ・ 出来上がった工事は素晴らしいと思う。工事方法は検討の余地有りと思う。
- ・ 上流は良くなった。下流の川の改修工事が必要と思います。
- ・ 下流の水路改修、補修も含めた総合対策が必要と思う。
- ・ 投資と効果面で、有効であったか、やや疑問が残る。
- ・ 今回の工事に関しては、行うとしたら着工が遅い。思い付きで工事を行ったように見える。
- ・ 工事が一度で終了するように事前の調査をしっかりともらいたかった。
- ・ 普段水を流していないので動植物の巣にならないか。
- ・ 税金をもらい、税金を使って工事をしていることへの意識の再確認を。税金使ったアンケート必要無い。
- ・ 税金の使い道の優先順位をもっと検討すべき。アンケート集約しても事業の参考にならない。
- ・ 工事後大雨の時、あがたの森公園と県ヶ丘高校の間の道路に排水が溢れていた。里山辺の雨水が影響しているなら改良が必要。
- ・ 水門の開閉等の管理責任の明確化。排水路の管理規定、管理責任等が明確に示されていない。
- ・ 雨の都度、役員さん水門の開閉が大変と伺った。勤めで留守の人が多いため管理をどこがするのか明確にする事も必要かも。

5区分	食料	25の施策分野	農業水利改良	事業名	県営かんがい排水
市町村名	松本市	ふりがな 箇所名	さとやまへ 里山辺		

施工前写真

工事施工前の状況写真



施工後(現況)写真

現在の状況写真

